

Applied Xsite™

COMPUTERIZED MAINTENANCE MANAGEMENT SOFTWARE



適正なリソースを適用することで、設備停止の最小化および工場生産性の最大化を図り、コストを削減します。

特長

- ツールの稼働時間とスループットの向上
- 設備耐用年数の延長
- 全体的な在庫レベルの管理向上
- リソース効率の最適化
- 設備の信頼性および多様性の向上
- 推測による保守および人員配置の排除

最終的な収益が重要視されるなか、生産設備のコスト上昇および製造工程の複雑化に見舞われる半導体メーカーにとっては、工場の非効率な部分をプロアクティブ（先行的）に削減し、ウェハのロスを防ぎ、製造ミスを最小限に抑えることでオペレーションを最適化することが重要となっています。Xsite Computerized Maintenance Management Software(CMMS)は、製造施設における生産設備および資産の保守管理を自動化します。

工場リソースの管理

Xsiteは、設備の状態、予防・予知保守(PM)スケジュール、および現在の作業指示アクティビティを監視し、生産計画への影響を最小化します。また、これらのアクティビティを監視することで、在庫レベルの低減および補充管理に役立つようスペアパーツ情報を提供します。Xsiteを使用すれば、技術者は、リモートおよびモバイル・アクセスによって現在の作業指示や装置の状況をチェックし、現在のPMに必要なパーツや使用可能なパーツを、作業開始前に準備できます。Xsiteは、より効率的なPMを行うために、所定の作業に対して適正なスキル・レベルを特定することができます。適正な要員を適用することで、設備停止の最小化および工場生産性の最大化を図り、コストを削減します。

MESとのインテグレーション

製造の最適化を実現するため、Applied XsiteはMESパッケージFACTORYworks®と完全に統合されており、共通のユーザ認証およびデータ・モデルを使用して稼働します。Applied Xsiteは、設備の状態とアクティビティをクラスタ・ツールの個々のチャンバにいたるまでトラッキングすることで、スループットと生産に好結果をもたらします。MESはこれらの情報を用いることで、1チャンバ停止のような設備能力が低下しているものの運転可能なときでさえ、ツールの可用性をより正確に評価できます。統合化された設備保守、MES、およびリアルタイムのスケジューリングシステムは、スケジューリング、新規要求、現在のジョブのアクティビティ、および次回の保守に関する情報を提供し、必要に応じて仕掛品(WIP)の再配分を可能にすることで歩留まりの向上を図ります。

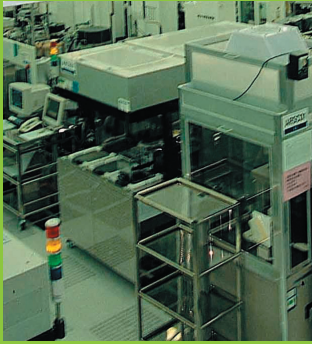
さらに、Xsiteは、Applied Real-Time Dispatcher™ (RTD) ソリューションに加えてすべての主要サードパーティ製MESシステムとのインテグレーションも実現しています。

予防・予知保守 (PM)

Xsiteには、MESおよび自動装置から直接受け取ったリアルタイムの装置入力に基づいて、保守作業を計画および管理するという独自の機能があります。Xsiteを使用すれば、工場オペレータは、条件に基づいて予防・予知保守スケジュールを起動する自動トリガをセットアップできるので、より効果的でタイムリーな予防保守(PM)プログラムが実現され、その結果、歩留まりが向上し、オペレーション効率が高まり、収益が増大します。

オープン・アーキテクチャ

Xsiteは、オープンなオブジェクト指向アーキテクチャを基盤としているので、ユーザはそれぞれのニーズにもっとも適した工場アプリケーションおよびデータベースを選択してインテグレーションできます。オペレータは、工場内の任意のクライアント画面から、設備の状況や現在の作業要求およびアクティビティを確認できます。Web Service APIを使用すれば、Web経由にてXsiteのリアルタイム機能やデータにアクセスできるので、他のクライアントとのインテグレーションも可能です。Xsiteは、すでにあらゆる主要なMESアプリケーションとともに導入されています。



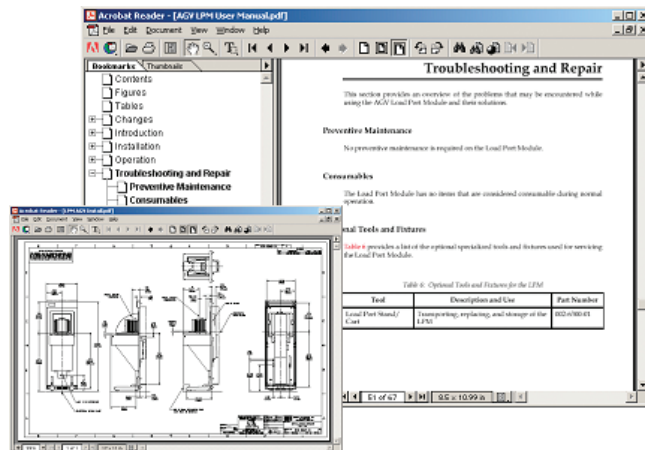
Xsiteには、MESから直接受け取ったリアルタイムの装置入力に基づいて、保守作業を計画および管理するという独自の機能があります。

設備の分析

設備状況、予防保守作業、コスト、リソース使用状況、および交換パーツの評価に関する標準レポートをはじめとして、広範なレポート機能と分析機能が利用できます。Xsiteは、設備稼働時間、使用率、可用性、修理用パーツの在庫、およびSEMI E10スタンダードにより計算したMTTR/MTBFに関する情報を、製造スタッフにリアルタイムで提供します。Xsiteは計画作業指示、修理履歴、およびコスト分析などを含め、収益を創出する設備資産の監視を可能にします。標準的な保守アクティビティには、障害コード、パーツ交換、チェック・リストの承認、資材コストおよび人件費といった情報を集める必要があります。収集されたデータは、障害の再発を減らすために、パフォーマンス、障害の状態、およびコストの分析に使用されます。

企業資産の管理

Xsiteは、ERPパッケージとのリアルタイムなインテグレーションを通じて、全社的なスペアパーツの在庫管理を最適化します。半導体やフラット・パネルの製造といった資本集約的な環境では、予防保守(PM)に必要なスペアパーツの在庫回転率を上げることで、大幅なコスト削減が可能になります。Xsiteは「アウト・オブ・ボックス」で(追加の設定をすることなくそのまま)SAPとインテグレーションできます。SAPによりNetWeaver xAppsプラットフォームに準拠していることが認証されています。Xsiteは、設備の状態を管理し、その情報を作業要求、PM、スペアパーツの在庫とリンクさせることで強力な企業設備資産管理(EAM)ソリューションを提供します。



Xsiteには、MESおよび自動装置から直接受け取ったリアルタイムの装置入力に基づいて、保守作業を計画および管理するという独自の機能があります。